

2009年度	現代社会と人権(総合講座)			
担当教員	李 和子、中村 英一朗、金井 英樹			
配当	教育3		コード	53180
開期	通年	講時	金曜日3限	単位数
授業テーマ	この授業は、現代社会における人権の問題を中心として、担当者ごとに以下の3つのテーマを設定する。 ・前期 現代社会における人権の諸相と私たち ・後期前半 異なる国籍・民族の人々と生きる ・後期後半 ジェンダーと人権問題			
目的と概要	・前期 現代社会における差別の現実を具体的に取り上げて、そこから深く学ぶことを追求する。また、人権を尊重するとはどういうことなのか、私たちの生きる時代を「人権の世紀」にするための方途をともに学ぼう。 ・後期 後期のこの講座は、現代社会における人権問題を「みんな同じでなくてはならない」ことが平等ではなく、【ちがいを豊かさに】とらえることを通して、在日外国人問題・男女平等問題を中心に問題設定し2名の担当者がそれぞれのテーマにそって講義やワークショップをする形式で行われる。 後期前半は、「多民族・多国籍・多文化」社会へと進んでいる現在、異文化・異民族の存在に気づき、日本に住むようになった歴史的経緯、その国の政治・経済・文化、個人の思いを知る。外国人住民の渡日史、生活、人権問題についてビデオ等も使用し、異なる国籍・民族を持つ人々の人権が尊重され、多文化が共生する地域社会への展望を探る。 後期後半は、男女平等の観点(ジェンダー:社会的文化的に作られた性差)を切り口に、『当たり前』と思っていた自分の感覚も講義やワークショップを通して、自分が揺さぶられ成長する過程にする。また、そこから「人権」というものが、与えられるだけのものではなく互いに尊重しあうものとして『権利と責任』というセットでとらえ直してみたい。これらを通して現代の「人権」を問い直し、ただ答えを教わるのではなくじっくりと一緒に考えてゆく機会にしたい。			
成績評価法	前期・後期をそれぞれ以下のように評価し、それらを総合して評価する。 ・前期: 基本的にレポートの成果によって評価する。授業時のレポートや毎時提出のコミュニケーション・ペーパーも参考とする。 ・後期: 「講義時のミニ・レポート」と、学期末の「レポート」で評価する。			
テキスト	前期:適宜レジメを配布する。 後期:必要に応じて講義時に資料を配付する。			
参考書	必要に応じて授業時に紹介する。			
履修に当たっての注意・助言	1. <学び>に対して真摯であること。 2. 後期は、前半と後半で講師が変わる。後期末のレポートについては、両方の講師から課題が出されるが、受講者は、後期前半(異なる国籍・民族の人々と共に生きる)か、後期後半(ジェンダーと人権問題)のどちらかを選択してレポートを作成すること。			
講義計画				
【前期】				
1. はじめに 授業の進め方、何をどう学ぶか、レポートについて、意識調査				
2. 現代社会と差別Ⅰ 現代社会と差別の諸相を考える				
3. 現代社会と差別Ⅱ 現代の人権とは何か				
4. 日本社会と部落問題Ⅰ 部落史観の転換とは何か				
5. 日本社会と部落問題Ⅱ 部落の形成史に迫る				
6. 日本社会と部落問題Ⅲ 差別観念と共同幻想の解析				
7. 日本社会と部落問題Ⅳ 近代の問題としての部落問題				
8. 日本社会と部落問題Ⅴ 戦後の部落解放運動				
9. 沖縄とアイヌ 南北の異なる文化圏の歴史と現状				
10. 性差別 男女共同参画社会、ジェンダー等				
11. 子どもの人権 子どもの権利条約				
12. 貧困と格差社会 貧困問題のいまと格差拡大社会				
13. 裁判と人権 冤罪事件と犯罪報道、名誉回復				
14. 戦争と差別 最大の人権侵害と環境破壊				
15. 外国人の人権 日本社会の排外意識と現状				
【後期】				
16. 異なる国籍・民族の人々と共に生きている私たち 国際化する「にほん」人類共通の課題は何ですか？				
17. 身近な「外国人」人権問題(その1) ビデオ視聴「いっしょに歩こう」豊かな国際化社会をめざして				
18. 身近な「外国人」人権問題(その2) 定住外国人の類型～歴史的・社会的背景の多様化				
19. 在日コリアンの歴史と生活(その1) 1900年～1945年 植民地時代の生活と渡日				
20. 在日コリアンの歴史と生活(その2) 1945年～2009年 同化・排外から共生へ				
21. 異なる国籍・民族の人々と共に生きるために(その1) 学校現場の今 子ども達の作文から				
22. 異なる国籍・民族の人々と共に生きるために(その2) 地方自治体の外国人施策、多文化教育の現状、学びから実践へ				
23. 男女平等問題の基本を身近な問題から考える				

24. ジェンダーと学校教育
25. 「女らしさ」「男らしさ」から同性愛や性同一性「障害」について考えてみる
26. 結婚(将来のパートナーの条件)について自分の感覚を振り返る
27. セクシャル・ハラスメントについて
28. 「権利と責任」について考える
29. その『権利』を疑ってみる:人権を考える
30. 授業のまとめとレポート作成